

1. 全般

No	質問	回答	更新日	備考
1	全ての構成要素について個々の質量を記載すると、顧客に原料価格が分ってしまう。	同じ材料の構成要素を、混乱しない範囲でまとめて記述する(例:「3心の導体」や「外部導体」をまとめて「導体」とする)ことは可能だと思われます。但し、AIS作成/改訂の都度まとめるor読み替える作業が発生するため、担当者間の意思統一が出来ていないと混乱する元になります。 その他、仕様書記載の公称寸法で計算した概算値を記載する等、必要以上の精度は要求されていないので、「環境や安全性のために情報伝達する」という理念に反しない範囲で精度を判断してケースバイケースで対応して下さい。	2009/9/7	第1回提案(#1-9) 一部追記
2	各部位ごと、均質材料ごとに全てを開示することになり、ノウハウの流出につながるのではないか。	材料といっても大まかな材料の分類であり、材料を構成する化学物質は報告対象物質に該当しない限り、記載する必要はありません。		JAMP AIS作成 手順書Q3
3	素材構成が丸見えとなり、技術的ノウハウの流出になるのではないか。	材料情報は必ずしも精緻なものを要求されていないと考えます。AISでは材質をほぼ完全に化学物質に展開して開示するようなことは要求していません。		JAMP AIS作成 手順書Q4
4	現在入手している情報により、報告物質の有無を判断するのが難しいのですが。	JAMPではMSDSやMSDSplusの情報を基に記載するよう推奨しています。それらを手入れし、記載された該当法令の判定に基づき判断して下さい。また、物質を選択することにより、自動的に該当法令をチェックする入力支援ツールも提供していますので、物質が既知の場合は利用下さい。なお、入力支援ツールはあくまで補助的なものですので、最終的には作成者が記載事項に責任を持って行なって下さい。		JAMP AIS作成 手順書Q6
5	包装材と製品は分けて作成するのですか。	間接輸出の場合、下流(納入先)の要求がない限り、包装材のAIS発行は必須ではありません。(欧州への直接輸出の場合、欧州ではAISは通用しないと思われるので、別書式での伝達が必要です)		JAMP AIS作成 手順書Q10 (一部追記)
6	川上からの情報をそのまま川下に伝達することは秘匿情報の取り扱いとして問題ないのですか。	川上からの開示が守秘義務契約に基づくもの、あるいは情報伝達の制限を受けている場合には、川下への開示範囲は川上との十分な議論をお願いします。また、AISに開示したくない情報(製造工程に関する秘密情報や使用材料自体がノウハウなど)を含む場合は、提出先との十分な事前協議が必要です。(基本的に、川下ユーザーとの守秘契約の締結が望ましい。)		JAMP AIS作成 手順書Q15 (抜粋)
7	SVHCが追加される度に、川上メーカーに含有情報を要求してゆかねばならない。電線業界として、それがルーチンワークとなるのであろうか？	基本的には変更の度に要求することになりますが、実際はケースバイケースでの対応になると考えます。JAMPの管理対象物質にはSVHCとなるであろう物質を全て含んでいるので、再要求は必要ない場合が多いと思われます。	2011/1/13	電線業界製品含有化学物質対応説明会 (2010年10月)
8	MSDSplusは不含有を証明するものではないと考え、これと不含有証明を取引先に要求しています。MSDSplusに法的拘束力は有るのですか？また、不含有証明に関する書類作成等は考慮されていますか？	JAMPでは不含有証明等の検討はされていません。各社のBtoBで対応して下さい。ただJAMP書式の授受に関しては各社同意の下に行なっている筈であり、その意味では公的な文書と考えられます。よって、証拠として不含有証明と同等の文書的な扱いと考えても良いのではないのでしょうか？	2011/1/13	電線業界製品含有化学物質対応説明会 (2010年10月)
9	ガイダンスに「提出したAIS、MSDSplusは10年間保管する」とありますが、紙にプリントして提出した場合、紙と電子データと両方保存する必要がありますか？	基本的に電子データのプロテクトは非常に困難と考えます。紙で提出したのであれば、コピーを保存する等の対応が可能と考えます。逆に電子データで提出した場合、10年間保管するための対応を検討する必要があると考えます。	2011/1/13	2010年度第5回 調査研究会提案

2. 入力

No	質問	回答	更新日	備考
1	特殊合金銅など、不純物が数種類(Pb,Zn等)あり、濃度がそれぞれ0.1%以下と規程されている場合、AISへの記載はどうすればいいか。	不純物が報告対象物質でない場合、記載の必要はありません。報告対象物質でも0.1wt%以下の場合、REACH規則に基づきAISへの記載は不要と考えます。	2009/9/7	第1回提案(#1-9) 一部変更
2	3心のCVケーブルなど、識別のため絶縁体の色だけが異なる(表面着色、スキン層等)場合、AISは各心線ごとに区別して記載しないとしないか。	それぞれの着色材等を検証し、報告対象物質がなければ区分する必要はありません。報告対象物質を含有している場合は区別が必要です。	2009/9/7	第1回提案(#1-9)
3	JIG備考欄の使用用途分類コードについて、簡単に入力する方法はありませんか。	入力支援ツールでは容量抑制のため、当該リストは実装していません。JAMPホームページに使用用途分類コード表のExcelファイルを掲載しておりますので、コピーペーストする方法でご活用下さい。		JAMP AIS作成 手順書Q35 (抜粋)
4	使用用途分類コードのバージョンが変わったらどうしたらよいのですか。	バージョンが変わっても、別の使用用途について過去に存在したコードを充てないと聞いています。 JGPSSIで分類コードが改訂された場合、そちらをご利用下さい。JAMP側で準備ができれば、新バージョンの分類コードをホームページでお知らせします。 (注;JGPSSIでは2009/7 Ver.4に改訂されています)		JAMP AIS作成 手順書Q36 (抜粋)
5	表面処理(めっき)についてAISの作成方法を教えてください。	JAMPではホームページに「めっき工程」のガイダンスを公開していますので、これを参照下さい。		JAMP AIS作成 手順書Q37 (抜粋)
6	押えテープ等のPETには触媒残渣としてアンチモンが微量(200~300ppm)含有しているとの情報が川上から伝達される場合があるが、0.1%以下でもあり報告するかどうかで迷います。	当該物質は三酸化アンチモンであり、「GADSL、JIGを対象とする」場合以外は報告対象物質ではありません。報告対象物質でも0.1wt%以下の場合、REACH規則に基づきAISへの記載は不要と考えます。		
7	公的規格の確認に時間を要します。	代表的な材料について、参照表を作成します。		
8	「AIS複合化・単純化ツール」を電線で使いこなすのは難しいでしょうか？	このツールは、原部品を組み合わせる電線ハーネスなど加工付き電線で有効と考えます。電線単体の場合は「AIS作成支援ツール」と、用途により使い分けるようになっています。	2011/1/13	電線業界製品含有化学物質対応説明会 (2010年10月)
9	AIS事例で、「インキの質量が0」とされていますが、記入する必要があるのですか？	実際には記入しなくても問題ない重量ですが、記載可能最小重量の0.0001を入力しています。以前、表面インクがRoHS指令に抵触した経緯もあり、記載がないと指摘を受ける懸念があるため、記載を推奨します。塗装印刷の取り扱いにはJAMP 含有化学物質管理ガイドライン「塗装・印刷工程ガイダンス」を参照ください。	2011/1/13	電線業界製品含有化学物質対応説明会 (2010年10月)

3. 材質分類

No	質問	回答	更新日	備考
1	塗装や樹脂被覆のシリコン材料はどのように分類したら良いですか。	シリコン樹脂の被覆材については、通常熱硬化性と思われるので、「N543 その他の硬化性樹脂」に分類して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q2 (抜粋)
2	粘着材は混合物で熱可塑性と熱硬化性の両方があり分類しにくい。	リサイクル性などの視点から最終的に判断すべきと考えます(粘着材だけを集めてリサイクルはできませんが…)。熱硬化性があるとリサイクルは困難なので、「N543 その他硬化性樹脂」に分類して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q5
3	セロハンはどこに分類すべきでしょうか。	セロハンセルロースを原料とし、加工製造される透明な薄膜上の物質です。「N543 その他硬化性樹脂」に分類して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q6
4	フィルムでの薄膜塗布や蒸着コーティングはどれを選択するのですか。	「S305 金以外の貴金属…蒸着」、「S306 その他無機化合物コーティング」を選択して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q7 (抜粋)
5	FPC (Flexible Print Circuit) などのポリイミド樹脂の選択で迷います。	当該ポリイミド樹脂は通常熱硬化性と思われるので、「N543 その他の硬化性樹脂」に分類して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q8
6	製品表面に印刷されたインクの種類は。	「S401 塗膜樹脂」を選択して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q9 (抜粋)
7	高合金鋼と低合金鋼の差異を教えてください。	高合金鋼は材質分類解説に記したとおり、合金成分が10mass%以上のものを指し、実用的にはステンレス、パーマロイが該当します。		JAMP AIS材料分類説明書Q11 (抜粋)
8	フェライトの種類は。	フェライトはセラミックの一種ですので、「N720 セラミック」です。		JAMP AIS材料分類説明書Q12 (抜粋)
9	樹脂中の難燃剤、顔料、充填材などはどのような材質を選ばよのでしょうか。	材質は均質材料の範囲で選択して下さい。樹脂中の難燃剤等は機械的に分類できませんから、ある種の熱硬化性樹脂又は熱可塑性樹脂に該当することになります。樹脂中の難燃剤、顔料、充填材が報告対象物質に該当する場合には、報告物質として記載して下さい。		JAMP AIS材料分類説明書Q12 (抜粋)
10	特殊用途で”はんだめっき”を使用していますが、材質選択と物質名称の組合せに迷います。	はんだめっきは材質分類がないので「S005 スズめっき」を選択し、物質名に鉛を記載します。※スズは報告対象物質ではありませんので記載不要です。		
11	難燃ポリエチレン等、配合剤の多い樹脂の場合の材質選択に迷います。	JAMP AIS材料分類説明書 材料分類解説P.5/10の「フィラー充填の熱可塑性樹脂全ての解説(炭素繊維、ガラス繊維やタルクなどの粉体を5wt%以上を含む熱可塑性樹脂とする)」に従って、充填材合計が5%以上なら「N499 フィラー(充填材)を含有する熱可塑性樹脂」、5%未満なら「P529 その他熱可塑性樹脂」または「P511 PE」等、当該樹脂を選択して下さい。		
12	シールド用AL/PETテープ等ラミネート材の分類に迷います。	金属部は「R212 鍛造アルミニウム合金」、樹脂部は「N545 高分子複合材」を選択して下さい。		

■ AIS材質リスト(Ver.1.03)

材質の入力方法

1) 表面処理を除く構成(母材、被覆、付着材、内包剤)などの場合には、(1)一般的材質の場合 の表から選択して下さい
 表面処理に該当する構成の場合には、(2)表面処理の場合 の表(2)から選択して下さい。

(1) 一般的材質(表面処理を除く)の場合 (2) 表面処理の場合

材質用途	母材 被覆 付着剤 はんだ接合 内包剤(運転用調剤などに適用)
------	---

(表面処理系)	
材質用途	めっき 溶射 化成処理 PVD CVD 塗装 マーキング

対応システム	表面処理以外の分類	材質分類記号	
材料分類	無機系材質	鉄鋼及び鉄系材料	高合金鋼 R111
		高合金鋳鉄 R112	
		大分類:鉄鋼及び鉄系材料	中分類:鉄鋼/鋳鋼/焼結合金 R101
		非合金、低合金鋼 R102	
		中分類:鋳鉄 R103	
		片状黒鉛鋳鉄/可鍛鋳鉄 R104	
		球状黒鉛鋳鉄 R105	
		/パーミキュラー鋳鉄	
		非鉄金属材料等	鋳造アルミニウム合金 R211
		鍛造アルミニウム合金 R212	
	鋳造マグネシウム合金 R221		
	鍛造マグネシウム合金 R222		
	銅(例、ケーブルハーネスの銅) R311		
	銅合金 R312		
	亜鉛合金 R330		
	ニッケル合金 R340		
	鉛、鉛合金 R350		
	含鉛はんだ R351		
	非鉛はんだ R361		
	特殊金属(金) V421		
特殊金属(白金、ロジウム) V411			
その他の特殊金属(銀、パラジウム等) V412			
チタン、チタン合金 P398			
その他の非鉄金属 P399			
金属以外無機材質	セラミック N720		
	ガラス N721		
	その他無機化合物 N498		
有機系材質	ファイラー(充填材)を含有する N499		
	熱可塑性樹脂	PE P511	
	PP P512		
	PS P513		
	PVC P514		
	PC P515		
	POM P516		
	A(B)S P517		
	PA P518		
	PET P519		
	PPE P520		
	熱可塑性エラストマ P528		
	その他の熱可塑性樹脂 P529		
	硬化性樹脂類、他	ポリウレタン N541	
	不飽和ポリエステル N542		
	エポキシ樹脂 N551		
	その他の硬化性樹脂 N543		
	(熱可塑でない)エラストマー/エラストマー複合 N544		
	高分子複合材 N545		
	高分子複合材に含まれる樹脂 N546		
	高分子複合材に含まれる繊維 N547		
	天然素材	木材 N711	
	紙 N712		
	繊維 N713		
	皮革 N714		
運転用調剤	冷媒 N950		
潤滑剤、プレーキフルード、他 N900			
その他材料(粉体ほか) N999			

材質用途	表面処理用分類	材質分類記号
めっき	亜鉛めっき	S001
	ニッケルめっき	S002
	アルミニウムめっき	S003
	銅めっき	S004
	スズめっき	S005
	クロムめっき	S006
	コバルトめっき	S007
	金めっき	S008
	白金めっき	S009
	パラジウムめっき	S010
	ロジウムめっき	S011
	銀めっき	S012
	カドミウムめっき	S013

溶射	亜鉛溶射	S101
	アルミニウム溶射	S102
	肉盛溶射	S103
	コバルト自溶合金溶射	S104
	タングステンカーバイト自溶合金溶射	S105
	酸化アルミニウム溶射	S106
	酸化クロム溶射	S107
	スピネル溶射	S108
	酸化ジルコニウム溶射	S109
	炭化タングステン・コバルト溶射	S110
	炭化クロム・ニッケル溶射	S111

化成処理	クロメート被膜・6価クロム処理	S201
	3価クロメート処理	S202
	クロムフリー処理	S203
	ジオメット処理(ノンクロム)処理	S204
	シュウ酸ボンデ処理	S205
	ZAY コート処理	S206
	アルマイト処理	S207
	アルマイト塗装処理	S208
	マグネシウム防食処理	S209
	アルミニウム防食処理	S210
	黒染め(四三酸化鉄)処理	S211
	リン酸処理	S212

PVD・CVD	CrN コーティング	S301
	DLC コーティング	S302
	TiN コーティング	S303
	金蒸着(スパッタを含む)	S304
	金以外の貴金属・希少金属蒸着(スパッタを含む)	S305
	その他無機化合物のコーティング	S306

塗装・マーキング	塗膜樹脂	S401
	ダクロ処理	S402
	コーティング(セラミックス)	S403
	コーティング(ガラス)	S404
	コーティング(他の複合材)	S405

R:リサイクル可能、V:価値大、P:リサイクル可能性、N:リサイクル不能

組成成分情報入力対照表

○電線業界での用語

○入力

(JAMP AIS Ver.3.1a準拠)

電線の構成要素	
名称	材料
該当する部品を探す	
導体	アルミ線
導体	銅線
導体	鋼線
導体	亜鉛めっき
導体	スズめっき
導体	防錆剤
導体	水密コンパウンド
導体	マイカ
半導電層	半導電層
半導電層	半導電テープ
絶縁体	PE
絶縁体	架橋PE
絶縁体	難燃PE
絶縁体	PVC
絶縁体	ゴム、テフロン
絶縁体	シリコン樹脂
絶縁体	エナメル絶縁
絶縁体	エナメル絶縁
絶縁体	絶縁紙
絶縁体	絶縁油
構造材	押さえテープ
構造材	押さえテープ(紙)
構造材	識別テープ
構造材	セロハン
構造材	蒸着フィルム
構造材	ポリイミド樹脂
構造材	介在(PP)
構造材	介在(ジュート)
構造材	介在(紙)
構造材	粘着材
外部導体	銅
外部導体	鉄
外部導体	SUS
外部導体	スズめっき
シース	PE
シース	難燃PE
シース	PVC
シース	ナイロン
シース	ゴム、テフロン
シース	半導電層
シース	鉛遮水テープ
シース	アルミ遮水テープ
シース	テープ本体
シース	銅コルゲート
シース	アルミコルゲート
シース	鉄コルゲート
シース	SUSコルゲート
シース	表面印字
コネクタ	黄銅
コネクタ	ニッケルめっき

部品		材質						報告物質 [参考例]				
名称	員数	材質用途	材質名称	分類記	公的規格	材質質量	単位	物質名	CAS番号	含有率wt%	質量	単位
記述	記述	選択	選択	自動	記述	記述	選択	選択	自動	記述	自動	自動
導体		1.母材	鍛造アルミニウム合金	R212	JIS C 3108		g					0 g
導体		1.母材	銅(例. ケーブルハーネスの銅)	R311	JIS C 3102		g	金属銅	7440-50-8			0 g
導体		1.母材	非合金、低合金鋼	R102			g					0 g
導体		6.(表面処理系)めっき	亜鉛めっき	S001			g					0 g
導体		6.(表面処理系)めっき	スズめっき	S005			g					0 g
導体		11.(表面処理系)塗装	塗膜樹脂	S401			g					0 g
導体		3.付着剤	フィラー充填の熱可塑性樹脂全て	N499			g					0 g
導体		3.付着剤	その他無機化合物	N498			g					0 g
半導電層		2.被覆	熱可塑性エラストマー	P528			g					0 g
半導電層		2.被覆	高分子複合材に含まれる繊維	N547			g					0 g
絶縁体		2.被覆	PE	P511			g					0 g
絶縁体		2.被覆	PE	P511			g	ジブチル錫ラウレート	77-58-7			0 g
絶縁体		2.被覆	フィラー充填の熱可塑性樹脂全て	N499			g					0 g
絶縁体		2.被覆	PVC	P514			g	フタル酸ジ-n-オクチル	117-84-0			0 g
絶縁体		2.被覆	(熱可塑性でない)エラストマー/エラストマー複合	N544			g	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7			0 g
絶縁体		2.被覆	その他の熱硬化性樹脂	N543			g	ステアリン酸鉛	1072-35-1			0 g
絶縁体		2.被覆	ポリウレタン	N541			g	ポリ塩化ビニル	9002-86-2			0 g
絶縁体		2.被覆	その他の熱硬化性樹脂	N543			g					0 g
絶縁体		2.被覆	紙	N712			g					0 g
絶縁体		3.付着剤	潤滑剤、プレーキフルード、他	N900			g					0 g
構造材		1.母材	高分子複合材に含まれる繊維	N547			g					0 g
構造材		1.母材	紙	N712			g					0 g
構造材		1.母材	高分子複合材に含まれる繊維	N547			g					0 g
構造材		1.母材	その他の熱硬化性樹脂	N543			g					0 g
構造材		6.(表面処理系)PVD処理	その他無機化合物コーティング	S306			g					0 g
構造材		1.母材	その他の熱硬化性樹脂	N543			g					0 g
構造材		1.母材	PP	P512			g					0 g
構造材		1.母材	繊維	N713			g					0 g
構造材		1.母材	紙	N712			g					0 g
構造材		1.母材	その他の熱硬化性樹脂	N543			g					0 g
外部導体		1.母材	銅(例. ケーブルハーネスの銅)	R311			g	金属銅	7440-50-8			0 g
外部導体		1.母材	非合金、低合金鋼	R102			g					0 g
外部導体		1.母材	高合金鋼	R111			g					0 g
外部導体		6.(表面処理系)めっき	スズめっき	S005			g					0 g
シース		2.被覆	PE	P511			g	三酸化アンチモン	1309-64-4			0 g
シース		2.被覆	フィラー充填の熱可塑性樹脂全て	N499			g	フタル酸ジ-n-オクチル	117-84-0			0 g
シース		2.被覆	PVC	P514			g	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7			0 g
シース		2.被覆	PA	P518			g	ステアリン酸鉛	1072-35-1			0 g
シース		2.被覆	(熱可塑性でない)エラストマー/エラストマー複合	N544			g	ポリ塩化ビニル	9002-86-2			0 g
シース		3.付着剤	熱可塑性エラストマー	P528			g					0 g
シース		3.付着剤	鉛、鉛合金	R350			g	鉛	7439-92-1			0 g
シース		3.付着剤	鍛造アルミニウム合金	R212			g					0 g
シース		3.付着剤	高分子複合材	N545			g					0 g
シース		3.付着剤	銅(例. ケーブルハーネスの銅)	R311			g	金属銅	7440-50-8			0 g
シース		3.付着剤	鍛造アルミニウム合金	R212			g					0 g
シース		3.付着剤	非合金、低合金鋼	R102			g					0 g
シース		3.付着剤	高合金鋼	R111			g					0 g
シース		12.(表面処理系)マーキング	塗膜樹脂	S401			g					0 g
コネクタ		1.母材	黄銅	R312			g	銅	7440-50-8			0 g
コネクタ		6.(表面処理系)めっき	ニッケルめっき	S002			g	ニッケル	7440-02-0			0 g